



## DI EXPRESS 創刊!

DI EXPRESS は、「薬剤部だより」と「DI 月報」を統合して創刊されました。月1回発行し、薬剤部の活動、医薬品の最新情報等をいち早く掲載していきます。また、メーリングリストを利用した配信も検討しています。今後ともよろしくご報告致します。

## 麻薬免許証の期限切れに注意

麻薬免許証の有効期限は、取得の日から翌年の12月31日までです。来年は「宇-22」、「宇-23」以外は全て無効となります。今一度ご確認ください。

## 年末年始の薬の取扱い

年末年始(12/28(火)17:00~1/4(火)8:30)に使用する薬剤の請求は以下の通りになっています。

【内服・外用薬:調剤室(2669)】

年末年始に投与予定の処方箋は12/28(火)17:00までにオーダーしてください。上記期間中の内服・外用薬処方箋は薬剤部にて出力されます。また、入院時間外処方箋は長期コメントを入力しても最大3日分までしか処方できませんので、ご注意ください。時間外は薬剤部のシステムが稼働していないため、薬品説明文書提供、自動錠剤分包は行うことができませんので、ご了承ください。

【注射薬:注射調剤室(2724)】

実施日	入力締切日	交付日
12/28(火)~12/31(金)	12/27(月)の各診療科の締切時間まで	12/27(月)
1/1(土)~1/4(火)	12/28(火)の各診療科の締切時間まで	12/28(火)

## 医薬品・医療機器等安全性情報 No.274

### 重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂(追加)したので内容を紹介する。

**アダリムマブ(遺伝子組換え)(商品名:ヒュミラ皮下注 40mg シリンジ 0.8mL)<ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤>**

#### 【重大な副作用】

劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全：劇症肝炎、著しいAST(GOT)、ALT(GPT)等の上昇を伴う肝機能障害、黄疸、肝不全があらわれることがあるので、十分に観察を行い、異常が認められた場合投与中止、適切な処置。なお、これらの中にはB型肝炎ウイルスの再活性化によるものを含む。

肝機能障害、黄疸：6例(死亡0例)

肝不全：2例(死亡2例)

劇症肝炎：2例(死亡2例)

(平成20年6月~平成22年8月17日)

**エルロチニブ塩酸塩 (商品名:タルセバ錠 25、100、150mg) <チロシンキナーゼ阻害薬> (当院未採用)**

**【重大な副作用】**

急性腎不全：観察を十分に行い、異常が認められた場合投与中止など、適切な処置。

消化管穿孔、消化管潰瘍、消化管出血：観察を十分に行い、異常が認められた場合、内視鏡、腹部X線、CT等の必要な検査を行い、投与中止など、適切な処置。

腎不全等の腎機能障害：7例(死亡3例)

消化管潰瘍：6例(死亡0例)

消化管出血：10例(死亡0例)

消化管潰瘍・出血併発例(死亡1例)

(平成19年12月～平成22年5月17日)

**ゲフィチニブ (商品名:イレッサ錠 250) <チロシンキナーゼ阻害薬> (当院未採用)**

**【重大な副作用】**

消化管穿孔、消化管潰瘍、消化管出血：観察を十分に行い、異常が認められた場合、内視鏡、腹部X線、CT等の必要な検査を行い、投与中止、適切な処置。

中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)、多形紅斑：十分に観察を行い、異常が認められた場合投与中止、適切な処置。

肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全：投与中は、1～2ヵ月に1回、あるいは患者の状態に応じて肝機能検査を実施するなど観察を十分に行い、重度の肝機能検査値変動が認められた場合には投与中止など、適切な処置。

消化管穿孔：2例(死亡0例)

消化管潰瘍：3例(死亡0例)

消化管出血：2例(死亡0例)

皮膚粘膜眼症候群：1例(死亡0例)

肝不全：3例(死亡1例)

(平成19年4月1日～平成22年7月27日)

**ゴセレリン酢酸塩(商品名:ゾラデックス 1.8mgデボ、3.6mgデボ、LA10.8mgデボ)<Gn-RH/LH-RH アゴニスト >**

**【重大な副作用】**

血栓塞栓症：心筋梗塞、脳塞栓、静脈血栓症、肺塞栓症等があらわれることがあるので、十分に観察を行い、異常が認められた場合投与中止、適切な処置。

(3.6mg <前立腺癌の場合>、10.8mg) 心不全：十分に観察を行い、異常が認められた場合投与中止、適切な処置。

(男性適応)

心不全：1例(死亡0例)

心筋梗塞：1例(死亡0例)

(平成19年4月1日～平成22年7月28日)

**コハク酸ソリフェナシン(商品名:ベシケア錠 2.5mg、5mg) <過活動膀胱治療剤>**

**【重大な副作用】**

QT延長、心室頻拍、房室ブロック、洞不全症候群、高度徐脈：十分に観察を行い、異常が認められた場合投与中止、適切な処置。

QT延長：2例(死亡0例)

心室頻拍：2例(死亡0例)

房室ブロック：1例(死亡0例)

洞不全症候群：1例(死亡0例)

徐脈：3例(死亡0例)

(平成19年4月1日～平成22年8月30日)

**ペムトレキセドナトリウム水和物(商品名:アリムタ注射用 100mg、500mg) <抗悪性腫瘍剤 >**

**【重大な副作用】**

感染症：敗血症、肺炎等があらわれることがあるので、十分に観察を行い、異常が認められた場合投与中止、適切な処置。

中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)：十分に観察を行い、異常が認められた場合投与中止、適切な処置。

感染症：35例(死亡3例)

皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)：2例(死亡0例)

(平成19年4月1日～平成22年5月31日)

リュープロレリン酢酸塩(商品名:リュープリン注射用 1.88、3.75、キット 1.88、キット 3.75、SR 注射用キット 11.25)

<LH-RH 誘導体制剤>

**【重大な副作用】**

血栓塞栓症：心筋梗塞、脳塞栓、静脈血栓症、肺塞栓症等があらわれることがあるので、十分に観察を行い、異常が認められた場合投与中止、適切な処置。

<前立腺癌の場合>心不全：十分に観察を行い、異常が認められた場合投与中止、適切な処置。

(男性適応)	心不全：3例(死亡0例)
	心筋梗塞：2例(死亡0例)
	脳梗塞：3例(死亡0例)
	血栓塞栓症：2例(死亡0例)
(女性適応)	心筋梗塞：3例(死亡0例)
	脳梗塞：2例(死亡0例)
	血栓塞栓症：2例(死亡0例)

(平成19年4月1日～平成22年7月28日)

ビカルタミド(商品名:カソデックス錠 80mg)、フルタミド(商品名:オルダイン錠 125mg) <抗悪性腫瘍剤>

**【重大な副作用】**

心不全、心筋梗塞：十分に観察を行い、異常が認められた場合投与中止、適切な処置。

心不全：2例(死亡0例) (平成19年4月1日～平成22年7月28日)

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>)  
又は厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/>)からも入手可能。

## 効能・効果追加等のお知らせ

ジブレキサ錠 5mg・10mg(一般名:オランザピン) <抗精神病薬>

【効能・効果】双極性障害における躁状態の改善

【用法・用量】成人にはオランザピンとして10mgを1日1回より開始(適宜増減)。維持量は、1日20mgを越えないこと。

<用法・用量に関する使用上の注意>

躁症状が改善した場合、投与継続の要否について検討、本剤を漫然と投与しない。

## 販売会社変更のお知らせ

ファルモルピシン注射用 10mg (一般名:エビルピシン) <抗悪性腫瘍剤>

プラトシン注 10・25・50(一般名:シスプラチン) <抗悪性腫瘍剤>

販売会社が、2011年1月より協和発酵キリン株式会社からファイザー株式会社に変更となります。

## 麻薬の取扱い注意徹底のお願い

デュロテップ MT パッチ(一般名:フェンタニル) <麻薬、経皮吸収型持続性疼痛治療剤>

本剤を他人に譲渡した事例が報告されました。処方または調剤に際しては、説明書を渡し、患者に以下の3つの注意事項を徹底。

医療用麻薬の取扱い注意事項

1. デュロテップ MT パッチは、「医療用麻薬」であること。
2. 他人はもとより、家族であっても譲渡不可。譲渡することは麻薬取締法で厳しく規制されていること。
3. 使わずに余ったデュロテップ MT パッチは安全に廃棄するため医療機関・薬局に必ず返却すること。

Drug Safety Update No.194 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 : 最重要 : 重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
レガルド（遺伝子組換え） （ヒト外ザ皮下注）	重要な基本的注意：インスリンの代替薬ではない。投与に際しては、患者のインスリン依存状態を確認、投与の可否を判断。インスリン依存状態患者で、インスリンから切り替え、急激な高血糖及び糖尿病性ケアシドーシスが発現した症例の報告あり。
ケトロコキシブ（テープ剤、パップ剤） （モラステブ、テープL、パップ30）	禁忌：オパノロンを含有する製品（オパノロン、香水等）に対して過敏症の既往歴 光線過敏症の既往歴 重要な基本的注意：異常が認められた場合直ちに使用中止、患部を遮光、適切な処置。

DSU について：最重要、重要な情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）で確認可能。

1. 新規常備医薬品 (合計 10 品目)

平成 22 年 12 月 14 日 (火) よりオーダ開始

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
アドシカ	錠	20mg	1720.8	日本新薬	Tadalafil 肺動脈性肺高血圧症治療薬 ホスホエステラーゼ 5 阻害作用 cGMP 量増加 血管弛緩作用 ホセタンとの併用においてホセタンの血中濃度に影響なし t1/2 約 14~15hr 1日1回投与可能 (従来品(レバチオ)は1日3回投与) 全例調査対象 【発売:2009.12.11】
イケプラ	錠	250mg 500mg	141.4 230.8	大塚製薬	Levetiracetam 抗てんかん剤 新規作用機序シブス小胞蛋白2A(SV2A)に結合 抗てんかん作用 他の抗てんかん薬無効の部分発作に有効 他の抗てんかん薬(加バセピソ、フェニトイン、バルプロ酸 Na、ゾニサミド)の血中濃度に影響しない 有効用量 1000mg から投与可能 【発売:2010.9.17】
ゲムシタシン点 滴静注用	注	200mg 1g	3,600 16,770	大鵬	Gemcitabine hydrochloride 抗悪性腫瘍剤 ジエムガール注射用の後発品 ジエムガール注射用(先発品)と生物学的に同等 膵癌の適応がない 経済的 先発品薬価 200mg:5,404 1g:25,179 【発売:2010.6.2】
ネシーナ	錠	25mg	209.4	武田	Alogliptin benzoate 糖尿病用剤(DPP-4阻害剤) 血糖依存性インスリン分泌促進、グルカゴン分泌抑制作用を持つインクレチンの分解酵素ジブチルペンチダセ(DPP-4)選択的阻害剤(類似薬に比べDPP-4選択性高い) 重度の腎・肝機能障害に用量調節で投与可能(禁忌なし) 1日1回投与 【発売:2010.6.15】
フェンタ テープ	貼付	1mg 2mg	570.6 1,063.6	久光	Fentanyl citrate 経皮吸収型持続性癌性疼痛治療剤 1日1回製剤(従来品(デュロテープ MTパッチ)は3日に1回張り替え) マトリクス型製剤 薬液もれや飛散のリスク低い 【発売:2010.6.24】

プロリスタ タイプ	錠	400mg	921.9	ヤンセン ファーマ	Darnavir ethanolate HIV 治療剤 他の抗 HIV 薬治療歴のない場合のみの適応（プロリスタ錠は治療経験のある場合の適応） プロテアーゼ阻害剤 オーファントラッグ 全例調査対象 1日1回製剤  【発売：2009.9.17】
ヘクセ化ックス 点滴静注	注	100mg	75,567	武田	Panitumumab 抗ガン剤（結腸・直腸がん治療剤） 完全ヒト型抗 EGFR 抗体製剤（アベピタックスはキメラ型抗体製剤） 低いインフルエンザ発現率 原則プレメデケーション不要 2週間に1回投与（併用される FOLFOX, FOLFIRI と投与間隔が同じ）  【発売：2010.6.15】

## 2. 剤形・規格追加医薬品（合計 4 品目）

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
サージセル・ア ブソバブル・ ヘキサット ユニット	-	15.2X 22.9cm	2,976.2/ 枚	ジョンソン トジョンソン	Cellulose oxidized 可吸収性止血剤 静菌作用 感染リスク軽減 肋骨からの出血コントロール可能 手術時間短縮、術者のストレス軽減  【発売：2000.9.1】
サントスタチン LAR 筋注用	注	20mg	215,749	バルティス ファーマ	Octreotide acetate 消化管ホルモン産生腫瘍、先端巨大症、下垂体性巨人症治療薬 下垂体ホルモンスチムル素受容体刺激薬 持続性ホルモンスチムル素徐放性製剤 4週間に1回筋注（従来品（サントスタチン皮下注用は1日2～3回投与）投与回数減少、患者負担軽減  【発売：2004.6.25】
ヒューマログミック ス25注ミキサ ン	注	300単位 /本	1,900	イーライ リリー	Insulin lispro 超速効型インスリン混合製剤 プロフィルトシリン製剤 手技簡便 手技指導時間の短縮  【発売：2008.6.20】
ミケラン LA	点眼液	2% 2.5mL	1,582.25/ 本	大塚 製薬	Carteolol hydrochloride 緑内障・高眼圧症治療剤 1日1回点眼の持続型点眼液 （現行製剤のミケラン点眼液は1日2回） 1日1回で24時間眼圧下降 持続化剤としてアルギン酸1%添加 眼球表面での滞留性向上 他点眼剤併用時は10分以上間隔をあけ、本剤を最後に点眼  【発売：2007.7.3】

3. 切り替え医薬品 (合計 2 品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
ケタール静注用 50mg	注	50mg/5mL	300	第一三共	Ketamine hydrochloride 全身麻酔導入・維持剤 施用残液の軽減 使いきりのため、容易に管理可能 【発売：2010.7.14】
ヒューマトロポン 6mg	器具	-	3,000	イーライリー	ヒューマトロポン 注射用 6mg 専用注入器

4. 削除医薬品 (合計 7 品目)

商品名	剤形	規格	削除理由
アンパック	坐剤	10mg	フェントステープ 1mg・2mg 採用の場合、削除
ヴァイテックス	錠	100mg	プリジスタイブ 錠 400mg 採用の場合、削除
ケタール静注用	注	200mg/20mL	ケタール静注用 50mg 採用の場合、削除
サカネテン配合	錠	-	アトシルカ錠 20mg 採用の場合、削除
ヒューマトロポン MG	注入器	-	ヒューマトロポン 6mg 採用の場合、削除
ヒューマログ ミックス 25 注カート	注	300 単位/V	ヒューマログ ミックス 25 注ミリオポン採用の場合、削除
ミケラン点眼液 2%	点眼液	2% 5mL	ミケラン LA 点眼液 2%採用の場合、削除

p40

### 抗HIV剤

ダルナビルエタノール付加物 darunavir ethanolate

**プリジスタ** Prezista ヤンセン

コード 薬価

ナイーブ錠(劇):400mg [フリシ 02] 921.9

【効】HIV 感染症 (治療経験のない患者)

【用】1 回 800mg とリトナビル 1 回 100mg をそれぞれ 1 日 1 回 食事中又は食直後に併用 必ず他の抗 HIV 薬と併用

【禁】本剤成分過敏症 トリアソラム ミダソラム ピモジド エルゴタミン ジヒドロエルゴタミン エルゴメトリン メチルエルゴメトリン バルデナフィル プロナンセリン シルデナフィル(レバチオ) タダラフィル(アドシルカ) アゼルニジピン 低出生体重児 新生児 乳児 3 歳未満の幼児

【重大な副作用】中毒性表皮壊死融解症(TEN) 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 多形紅斑 肝機能障害 黄疸 急性膵炎

【備考】HIV-1 フロテアーゼ阻害剤

p228

### 抗てんかん剤

レベチラセタム levetiracetam

**イーケプラ** E Keppra 大塚

コード 薬価

錠:250mg [イケフ 01] 141.4

錠:500mg [イケフ 02] 230.8

【効】他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する抗てんかん薬との併用療法

【用】1 日 1000mg を 1 日 2 回に分服 1 日 3000mg を超えない範囲で適宜増減 増量は 2 週間以上の間隔をあけて 1 日用量 1000mg 以下ずつ行う

【禁】本剤成分又はピロリドン誘導体過敏症

【重大な副作用】中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群) 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 重篤な血液障害 肝不全 肝炎 膵炎



## 代謝拮抗剤

ゲムシタビン塩酸塩 gemcitabine hydrochloride

**ゲムシタビン「タイハウ」** Gemcitabine 大鵬

コード 薬価

点滴静注用〔劇〕:200mg/V [ケムシ 61] 3,600

点滴静注用〔劇〕:1g/V [ケムシ 62] 16,770

【効】(1)非小細胞肺癌 胆道癌 尿路上皮癌 (2)手術不能又は再発乳癌

【用】(1)1回 1000mg/m<sup>2</sup>を30分かけて点滴静注 週1回投与を3週連続し4週目は休薬(1コース)繰り返す(適宜減量) (2)1回 1250mg/m<sup>2</sup>を30分かけて点滴静注 週1回投与を2週連続し3週目は休薬(1コース)繰り返す(適宜減量)

【警】緊急時に十分対応できる医療施設で、十分な知識・経験を持つ医師のもと、適切症例についてのみ実施 治療開始に先立ち、有効性及び危険性を十分説明し、同意を得て投与 週1回投与を30分間点滴静注 禁忌、慎重投与を参照し適応患者選択に十分注意 高度な骨髄抑制のある患者には投与しない 胸部単純 X 線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症のある患者には投与しない 放射線増感作用を期待する胸部への放射線療法との

同時併用は避ける 臨床症状を十分観察、頻回に臨床検査、定期的に胸部 X 線検査等を行い、異常が認められた場合は適切な処置、投与継続の可否について慎重に検討

【禁】高度な骨髄抑制 胸部単純 X 線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症 胸部放射線療法施行中 重症感染症 本剤成分重篤な過敏症 妊婦又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】骨髄抑制 間質性肺炎 アナフィラキシー様症状 心筋梗塞 うっ血性心不全 肺水腫 気管支痙攣 成人呼吸促迫症候群(ARDS) 腎不全 溶血性尿毒症症候群 皮膚障害 肝機能障害 黄疸

## その他の腫瘍用薬

パニツムマブ(遺伝子組換え)

panitumumab(genetical recombination)

ベクティビックス Vectibix

武田

コード

薬価

点滴静注(劇):100mg/5mL/V [ハクテ 61] 75,567

【効】KRAS 遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

【用】2週間に1回6mg/kgを60分以上かけて点滴静注(適宜減量)

【警】緊急時に十分対応できる医療施設で、十分知識・経験を持つ医師のもと、適切症例にのみ投与 有効性・危険性を十分説明し、同意を得てから投与 間質性肺疾患があらわれることがある 臨床試験で間質性肺疾患既往歴のある患者において死亡例あり、異常が認められた場合は投与中止、副腎皮質ホルモン剤投与等の適切な処置 重度の Infusion reaction が発現し、死亡例が報告 アナフィラキシー様症状、血管浮腫、気管支痙攣、発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧等があらわれることがある 投与中止し、以降、再投与しない

【禁】本剤成分重度過敏症

【重大な副作用】重度の皮膚障害 間質性肺疾患 重度

の Infusion reaction 重度の下痢  
【備考】ヒト型抗 EGFR モノクローナル抗体

p103

### 下垂体ホルモン剤

オクトレオチド酢酸塩 octreotide acetate

**サンドスタチン** Sandostatin ノバルティス

コード 薬価

LAR 筋注用(劇):20mg/V [サト63] 215,749

【効】(1)次の疾患に伴う諸症状の改善:消化管ホルモン産生腫瘍(VIP産生腫瘍,カルチノイド症候群の特徴を示すカルチノイド腫瘍,ガストリン産生腫瘍) (2)次の疾患における成長ホルモン,ソマトメジン-C 分泌過剰状態及び諸症状の改善:先端巨大症・下垂体性巨人症(外科的処置,他剤による治療で効果が不十分な場合又は施行が困難な場合)

【用】オクトレオチド酢酸塩により有効性・忍容性が確認されている患者に使用 20mgを4週毎に3ヵ月間臀部筋注以降は症状・病態により10mg~30mgを4週毎に投与 (1)初回投与後2週間は本剤投与前と同一用量のオクトレオチド酢酸塩注射液を併用 (2)効果不十分な場合40mgまで増量可

**【禁】本剤成分過敏症**

【重大な副作用】アナフィラキシー様症状 徐脈

【備考】マイクロスフェア型徐放性製剤、専用分散液添付

p143

### 糖尿病治療剤 経口血糖降下剤

アログリプチン安息香酸塩 alogliptin benzoate

**ネシーナ** Nesina 武田

コード 薬価

錠:25mg [ネシナ01] 209.4

【効】2型糖尿病(次の治療で効果が得られない場合;食事療法・運動療法; + -GI剤; +チアゾリジン系薬剤)

【用】1日1回25mg

**【禁】重症ケトーシス 糖尿病性昏睡 前昏睡 1型糖尿病 重症感染症 手術前後 重篤な外傷 本剤成分過敏症**

【重大な副作用】低血糖症状

【備考】選択的DPP-4阻害剤

p185

## 止血剤

酸化セルロース oxidized cellulose

### サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット

Surgicel

ジョンソン

コード 薬価

外: 15.2 × 22.9 (ニューニット)

2,976.2

【効】各種手術時の止血及び創腔充填

【用】出血創面に直接適用するか、創腔に充填

【禁】骨折面又は椎弓切除術創への留置 大動脈の出血部 非出血性の多量漿液浸出部 骨孔の周り、骨の境界、脊髄周辺、視神経や視束交叉の周囲への留置

【重大な副作用】骨再生抑制 神経障害 視力障害 異物反応

p214

## 全身麻酔剤

ケタミン塩酸塩 ketamine hydrochloride

### ケタラール Ketalar

第一三共

コード 薬価

静注用〔劇〕〔麻〕: 50mg/5mL/A [ケタラ 63] 300

【効】手術、検査及び処置時の全身麻酔及び吸入麻酔の導入

【用】初回 1 ~ 2mg/kg を緩徐に静注(1 分間以上) 必要に応じて初回量と同量又は半量を追加

【禁】本剤成分過敏症 脳血管障害 高血圧 脳圧亢進症 重症の心代償不全 痙攣発作 外来患者

【重大な副作用】急性心不全 呼吸抑制 無呼吸 舌根沈下 痙攣 覚醒時反応

【備考】作用持続: 静注 5 ~ 10 分 解離性麻酔剤

p323

## 末梢血管拡張・循環改善剤

タダラフィル *tadalafil*

**アドシルカ** *Adcirca*

日本新薬

コード 薬価

錠: 20mg

[アトシ 01] 1,720.8

【効】肺動脈性肺高血圧症

【用】1日1回 40mg

【警】本剤と硝酸剤又は一酸化窒素(NO) 供与剤との併用により降圧作用が増強、過度に血圧を下降させることがあり、投与前にこれら薬剤が投与されていないことを十分確認、本剤投与中及び投与後においてもこれら薬剤が投与されないよう十分注意 一酸化窒素吸入療法と本剤の併用が治療上必要と判断される場合は、緊急時に十分対応できる医療施設において、十分な知識・経験を持つ医師のもとで慎重投与

【禁】本剤成分過敏症 硝酸剤又は一酸化窒素(NO) 供与剤 重度の腎障害 重度の肝障害 CYP3A4 を強く阻害する薬剤(イトラコナゾール、リトナビル、アタザナビル、インジナビル、ネルフィナビル、サキナビル、ダルナビル、クラリスロマイシン、テリスロマイシン) CYP3A4 を強く誘導する薬剤(リファンピシン、フェニトイン、カルバマゼピン、フェノバルビタール)を長期的

## に投与中患者

【重大な副作用】過敏症

【備考】ホスホジエステラーゼ 5 阻害剤

p379

### 緑内障治療剤

カルテオロール塩酸塩 *carteolol hydrochloride*

**ミケラン** Mikelan

大塚  
薬価

コード  
[ミケラ 43] 1,582.25

LA 点眼液: 2%2.5mL

**【効】** 緑内障 高眼圧症

**【用】** 1%製剤で十分な効果が得られない場合 2%製剤を 1 回 1 滴、1 日 1 回点眼

**【禁】** コントロール不十分な心不全 洞性徐脈 房室ブロック(II・III 度) 心原性ショック 気管支喘息 気管支痙攣 重篤な慢性閉塞性肺疾患 本剤成分過敏症

**【重大な副作用】** 喘息発作 失神 房室ブロック 洞不全症候群 洞停止等の徐脈性不整脈 うっ血性心不全 冠攣縮性狭心症

**【備考】** 遮断(房水産生抑制)

p442

### その他の麻薬

フェンタニルクエン酸塩 *fentanyl citrate*

**フェントス** Fentos

久光  
薬価

コード  
[フィン 41] 570.6

テープ(麻)(劇): 1mg

テープ(麻)(劇): 2mg

[フィン 42] 1,063.6

**【効】** 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

**【用】** 胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、1 日(約 24 時間)毎に貼り替えて使用 初回貼付量は 1~6mg (オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用)

**【警】** 本剤の温度が上昇するとフェンタニルの吸収量が増加し、過量投与になり、死に至るおそれあり 本剤貼付中は、外部熱源への接触、熱い温度での入浴等を避ける 発熱時には患者の状態を十分観察、副作用発現に注意

**【禁】** 本剤成分過敏症

**【重大な副作用】** 呼吸抑制 意識障害 依存性 ショック アナフィラキシー様症状 痙攣

**【備考】** 経皮吸収型 持続性癌疼痛治療剤

## 〔インスリン類〕

【禁】低血糖症状 本剤成分過敏症

【重大な副作用】低血糖 アナフィラキシーショック 血管神経性浮腫

分類	一般名	商品名(会社名)	規格	作用発現時間(時間)	最大作用時間(時間)	作用持続時間(時間)	適用	薬価
中間型 二相性	インスリン リスプロ (遺伝子組換え)	ヒューマログミックス25注 ミリパ Humalog Mix25 (リリ-) インスリンリスプロ:中間型インスリンリスプロ = 25:75	水懸性劇 300U/3mL	< 0.25	0.5-6	18-24	皮下	1900